

こうえきしゃだんほうじんとうきょうともうじんふくしきょうかいていしゅつ へいせい ねん がつ にちづ とうきょうとちじあてようほうしよ
公益社団法人東京都盲人福祉協会 提出の平成27年7月2日付け、東京都知事宛要望書より
ばっすい
抜粋

ちゅうりやく
(中略)

じょうほう かいしょう
情報バリアの解消について

ほんかい きかい しかくしょうがいしゃ じょうほう うった
本会では機会あるごとに視覚障害者の情報バリアフリーについて訴えてきた。

たと とうきょうとしょうがいしゃしきくすいしんきょうぎかい ふくし すいしんきょうぎかい
例えば、東京都障害者施策推進協議会や福祉のまちづくり推進協議会など。

そうした中で平成27年には情報バリアフリーの方法についても具体的な提案を行ってきた。

じょうほう かいしょう しかくしょうがいしゃ し けんり ほしょう きょうせいしゃかい
情報バリアの解消は、視覚障害者の「知る権利」を保障するものであり「共生社会」
じつげん だいいっぽ
実現のための第一歩である。

しかくしょうがいしゃ じょうほう じつげん てんじか おんせい
視覚障害者の情報のバリアフリーを実現するためには、1. 点字化、2. 音声化（デ
およ じゃくししゃむ おおかつじ
ィー及びカセットテープ）、3. 弱視者向けの大活字がある。

ただ問題は、会議の場で配布されても資料が膨大な場合は担当者の説明を聴きながら資料を
よ ろくおんぶつ き きわ こんなん なん かたち じぜんはいふ
読みこなしたり、録音物を聴くことは極めて困難であり、何らかの形で事前配布がなされ
ひつよう かつじ しりょう おんせい ふ き と そうち も こ ひつよう
る必要がある。また活字の資料に音声コードが付されているが聴き取り装置を持ち込む必要
があり、パンフレット程度のものであればまだしも、冊子になっているものは聴き取りが
こんなん じつようてき げん いっぽうてき あつ さっし おんせい つ
困難であり実用的ではない。現に一方的に厚さ5センチの冊子に音声コードが付けられた
ものが無用の長物になってしまった事例もある。このような場合は事前に当事者と協議す
ひつよう
る必要がある。

げんざいとうきょうと しかくしょうがいしゃむ はっこう こうほうとうきょうとてんじばん おんせいばん
現在東京都から視覚障害者向けに発行されているものは1. 広報東京都点字版・音声版（デ
およ とうきょうとかんこうぶつ ねん かい てんじばん ばん
ィー及びカセットテープ）2. 東京都刊行物 年12回（点字版・カセットテープ版）の
てん す かんこうぶつ ページすう せいげん ばっすい さくせい じつじょう
2点に過ぎず、刊行物も頁数の制限があるため抜粋でしか作製できないのが実情である。

これから50時間連続で録音できるディーが視覚障害者向け情報提供の最良の方法
じかんが じぜん とうじしゃ じゅうぶんきょうぎ うえ ぐたいさく こう
となることから、事前に当事者と十分協議の上、具体策を講じるべきで
ある。

< 参 照 >

デイジーとは、DAISY(Digital Accessible Information System)という規格を用いたデジタル録音のこと。50時間程度なら可能という長時間録音が特徴で、一般にCDあるいはSDカードを録音媒体とする。その他の特徴を活かしCD図書として応用すると、見出しから検索して読みたい部分を読んだり、読み飛ばしたり、一般の本のような読み方ができる。こうした特徴から同図書は現在、視覚障害者に広く利用されている。